



横尾中だより

校訓「自立」 〈学校スローガン No Challenge, No Chance〉

R5. 7. 4
第19号

発行者
長崎市立横尾中学校
校長 小浦 末浩

張大興中国総領事来校



各国には他国との外交の仕事をするために大使館がおかれており、自国の在留邦人のために総領事館がおかれています。役割が少し違うそうです。さて、6月30日（金）の午前中に、長崎の中国総領事館の張大興総領事が本校においでになりました。外大との交流も含め、国際交流を積極的に行っているということで、本校にお話があったようです。そもそも日本国内には、中国の総領事館は、大阪、福岡、札幌、名古屋、新潟、そして長崎の6カ所があります。正式には「中華人民共和国駐長崎総領事館」というそうです。



今回の来校は、「身近な中国を探る旅」という事業の一環の行事で、中国総領事館から提案がありました。2年生にやってもらうことにしています。2年生は、8月29日に、長崎市内にある中国に関する施設を訪問し、9月に中国総領事館に招待され、学んだ事を発表することになっています。バス代、昼食代も含め、全て総領事館が負担することになっています。

その最初の事業として、張総領事が横尾中に来られ、その趣旨について生徒に説明する、というのが6月30日に来校された目的となります。また、お土産として、馬の置物をいただきました。馬は中国では縁起の良い動物で、ネットで検索してみると、次のように説明されていました。



中国の伝統文化において、剪紙（切り紙細工）の馬、木彫りの馬、縁起のいい模様として馬をあしらった木彫りの家具など、「馬」の表現形式は多種多多彩だ。中国文化において、「馬」は祝福や願い、激励、成功などを象徴している。例えば、「何事もうまくいく」という意味の「馬到成功」は、人々が互いを祝福する言葉の代名詞になっている。人を励ます時に使う「竜馬精神」は、相手が心身ともに健康で元気旺盛なことを称賛する意味がある。【北京週報より】

荒天時の対応について



7月1日（土）は、土曜授業を予定しておりましたが、荒天のため、休校といたしました。荒天時の対応につきましては、学校の Web ページの「緊急時の対応」→「緊急時の学校の対応」にも明記しております。

基本的には長崎市が出している防災気象情報が基準となります。

警戒レベル4以上（避難指示）が出ている場合。

- 1 午前6時の時点で、長崎市に避難指示が出ている場合 → **自宅待機**
- 2(1) 午前10時の時点で、解除されていない場合 → **臨時休業**
- (2) 午前10時までに解除された場合 → **随時登校**

また、保護者の皆様が近所の状況が危険と判断された場合には自宅待機をさせていただいて結構です。その場合は学校へご連絡ください。

7/1（土）も、4時49分に「土砂災害警戒情報が発表」されていまして、自宅待機が正解でした。本来は、8時3分に大雨警報が解除されましたので、この時点で登校となりますが、7時の段階で解除となっておりませんでしたので、私の判断で「休校」とさせていただきます。安全安心メールと学校 Web ページで連絡をしました。

・午前中の授業であったこと
・講師をお招きすることになっていたこと
など、早めの連絡が必要であったことから、休校としました。

今後も、台風、雪などの荒天があるかもしれません。そのような場合は、ご紹介した内容が基本となります。なお、給食のこともあり（配送ができないなど）、そうはならないこともあり得ます。「臨時休校」については、安全安心メールや学校 Web ページでお知らせすることになります。